

地域連携と患者中心の「心」療所に感銘を受けました

介護福祉士 張鑫

先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 修士一年

精神科医療には普段関わる機会が少ないのですが、身体的な医療と異なり、看護や介護などによって、患者の「自己実現」を実現する為のケアであると考えています。

日吉心療所は精神病の治療にとどまらず、就労訓練までサポートすることが、一番印象的でした。

精神病を体験してきた患者さんは、閉鎖的な空間に抵抗感などがあると思います。

日吉心療所では地域との連携が重視されて、患者を中心として、社会と繋がっていく取り組みに挑戦しておられることに共感しました。

熊田先生は、また、患者の希望や課題を中心として、医者、薬剤師、OT、PSW、NS など、多職種連携が非常に重要であることを強調されました。それぞれの専門職が互いに協力し合い、患者に最適な治療を提供する「チーム診察」の重要性がよくわかりました。

今回の授業を通じて、精神科医療においては、医療技術だけでなく、患者の心理的、社会的な側面を考慮した包括的なアプローチが重要であることを実感しました。また、患者さんが心身の回復を目指し、地域社会とのつながりの中で安心して治療を受け、再び社会に復帰できるよう、患者の生き方や目標を尊重し、共に歩む姿勢が必要だと感じました。

自分はこの分野に関する理解がまだ浅いです。

精神病を体験している患者さんの神経回路、行動異常、不安などについて知識が不足しています。

けれど、患者とのコミュニケーションや適切なケアの提供が、患者さんの回復や社会復帰に影響を及ぼすことを痛感しました。

授業、ありがとうございました。